

ピックアップ特集：平成20年度の各会計決算の審査について

9月定例会の主な議題

第3回定例会は、9月16日から15日間の日程で開催され、平成20年度各会計の決算認定、補正予算など31件を原案のとおりそれぞれ可決、認定となりました。

一般質問は、7名の議員が次の通り質問しました。

◆公明党

(五十嵐美知)

【質問】 政権交代による09年度補正予算などの凍結や廃止による自治体運営・市民生活への影響とガソリン税の暫定税率廃止で当市財政面に与える影響は

【答弁】 予算の全面組み替えや制度の廃止・転換については早期に地方との協議の場を法制化し、議論を深め国民に十分情報を提供し政策内容を位置付けて行くことに期待する。ガソリン税の暫定税率廃止の影響は21年度ベースで約4千300万円になる。



◆民主クラブ

(若山 武信)

【質問】 所得税一般の控除が廃止になれば当市該当者は2千925人になる。国の大型直轄事業は全面的に見直しの考えで道内の事業が仮に廃止になれば下請け等の中小企業に対し影響が出る恐れがある。

【答弁】 所得税一般の控除が廃止になれば当市該当者は2千925人になる。国の大型直轄事業は全面的に見直しの考えで道内の事業が仮に廃止になれば下請け等の中小企業に対し影響が出る恐れがある。

◆新政クラブ

(植村 真美)

【質問】 国・道の運用指針に合わせて、感染予防の啓発と医療機関との連携を図りながら、感染者の受入れ体制を整えていく。

【答弁】 国・道の運用指針に合わせて、感染予防の啓発と医療機関との連携を図りながら、感染者の受入れ体制を整えていく。

◆知新会

(北市 勲)

【質問】 市立赤平総合病院の見直しと規模について

【答弁】 医療収益確保のため経営委員会・管理会議において経営改善に向けて努力する。人口推移や患者の動向を見据え経営形態を検討する。

までも学校の判断によって対応すべきだと考える。

◆共産党

(宍戸 忠)

【質問】 財政運営について、この8年間地方交付税の削減は直接的に地方自治を疲弊させたのではないかと。厳しい行政改革に取り組んできたが、このままでは、さらに国の支援を要望すべきではないか。

【答弁】 国保会計、今議会補正により累積赤字を全額解消。水道会計21年度決算で黒字転換。病院会計は経営健全化計画策定取り組み。さらに国に対して地方との協議の法制化を早期実現して、支援を求め、地方の声をしっかりと反映していただきたい。

【質問】 職員倫理確立について約2年ごとに発生する不祥事発生根絶の対策について

【答弁】 職員一人ひとり厳しく、自らを戒めるとともに、倫理意識の向上のために、ミーティング等行うなど意識改革に向け努力する。



【質問】 子供手当の財源に所得税の配偶者・扶養控除の廃止により増税となる対象者は公共事業の見直しと削減で高速道路無料化の財源に充てるのでは地元業者も死活問題との声もあり、その認識について伺う。

【答弁】 産業振興、住環境整備、少子化対策の三点をまちづくり重点プロジェクトと位置づけ、雇用・経済の確立、住みやすい環境整備、子供達が安心して暮らせる社会づく

【質問】 市立赤平総合病院の見直しと規模について



9月13日(日)に、第5回赤い羽根共同募金のチャリティーで、赤平市議会合唱団登場！今年は、北原白秋作詞・山田耕筰作曲の「この道」を歌いました。

平成20年度の各会計決算の審査について

…平成20年度決算状況…

	(歳入)	(歳出)	(差引額)
●一般会計	89億8679万円	78億9148万円	=10億9531万円
●特別会計			
国民健康保険	26億7113万円	30億6618万円	=△3億9505万円
老人保健	3億276万円	2億9172万円	=1104万円
後期高齢者医療	2億700万円	2億503万円	=197万円
土地造成事業	6716万円	6706万円	=10万円
下水道事業	13億608万円	12億9854万円	=754万円
霊園	743万円	568万円	=175万円
用地取得	1億8217万円	1億8217万円	=0万円
介護サービス事業	2億7174万円	2億1022万円	=6152万円
介護保険	11億5088万円	11億3420万円	=1668万円
●事業会計	(当年度純損益)		
水道	6513万円		
病院	9301万円		



9月24日より4日間の日程で決算審査特別委員会を開催し、平成20年度各会計決算の審査を行いました。

内容として、

●「財政の健全化に関する法律」による初年度として、再生団体入りが危惧されるなか、「赤平市財政健全化計画（改訂版）」による行財政改革を市民の理解と共に取り組み、緊張感をもって、節約と無駄のない予算執行が行われた。

●特別職、職員の人件費の大幅削減

●花卉園芸振興公社や旧赤平小学校跡地の民間譲渡による計画外の収入増

●特別交付税の増額

等々により財政状況も大きく好転し、一般会計においては剰余金10億9531万円を生み、心配された連結実質赤字比率も、13.1%まで改善されました。

しかしながら、病院事業会計においては、平成20年度末でもなお14億74万円の不良債務があり、今後の解消に向けての課題が残されています。

なお、決算審査特別委員会は全会計を認定しました。

議会の動き

<6月>

- 6/26 総務文教常任委員会
 - ・職員の処分について
- 6/26 社会経済常任委員会
 - ・市立赤平総合病院の経理状況について（5月分）

<7月>

- 7/1 全員協議会
- 7/3 総務文教・社会経済常任委員会連合審査会
 - ・職員の処分について
- 7/24 社会経済常任委員会
 - ・市立赤平総合病院の経理状況について（6月分）
 - ・エコバレー歌志内について
- 7/24 行財政改革調査特別委員会
 - ・平成20年度決算見込みについて
- 7/24・29 議会運営委員会
- 7/29 第2回臨時会
- 7/29 総務文教常任委員会
 - ・赤平市特別職の給与に関する条例の特例に関する条例の制定について

<8月>

- 8/11 総務文教・社会経済常任委員会連合審査会
 - ・職員の処分について
- 8/27 社会経済常任委員会
 - ・市立赤平総合病院の経理状況について（7月分）
- 8/27 総務文教常任委員会
 - ・市民プール移転について

<9月>

- 9/11 議会運営委員会・社会経済常任委員会
- 9/11 総務文教・社会経済常任委員会連合審査会
 - ・職員の団体会計運営費不正使用にかかる調査報告
- 9/16 議会運営委員会・第3回定例会（～30日）
- 9/18 総務文教常任委員会
 - ・赤平市過疎地域自立促進計画の一部変更について
 - ・財産の取得について
- 9/18 社会経済常任委員会
 - ・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
- 9/24 決算審査特別委員会（～29日）
 - ・平成20年度各会計決算認定について
- 9/29 全員協議会

編集後記

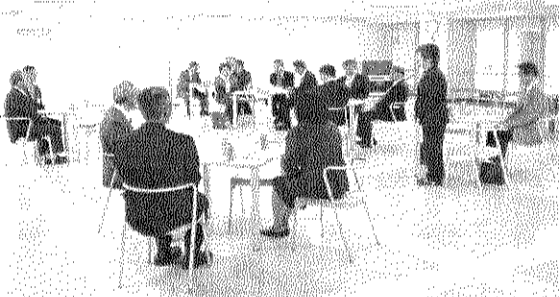
みなさん、こんにちは☆
エルムの山々も色づき、雪虫の姿もちらほらと見かけようになりました。
寒い日が多くなってきましたが、うがいと手洗いをしっかりと、風邪やインフルエンザにはかからないように、楽しい秋の季節を楽しみましょう！

かわら版編集委員

穴戸 谷田部
五十嵐 太田
植村



(意見交換の様子)



議会 Note Book

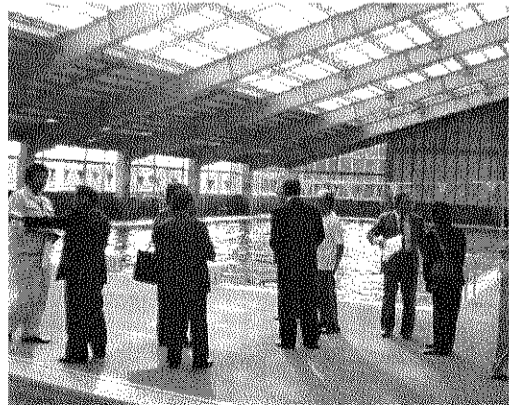
総務文教常任委員会「所管事務調査」で視察へ

委員長 五十嵐 美知

赤平市民プールは、築25年以上が過ぎ、老朽化が著しいことから市民プールの新設が計画されています。総務文教常任委員会は、平成21年10月6日（火）・7日（水）の2日間にわたり、深川市、名寄市、長沼町のプール3箇所を視察してまいりました。視察した3箇所それぞれが特徴のあるプールであり、参加委員からの活発な質問や意見交換がありました。

赤平市民プールは市内唯一の施設であり、市民の健康増進と体力の向上、子供たちのスポーツ振興に役立つ施設として必要不可欠であります。

今後、委員会は今回の視察を参考にして、利用者にとってより良い施設になるよう市に要望してまいります。



(プール見学の様子)